

IPイントラネット網の
VoIP (IP - QSIG) プロトコル仕様 (JJ - 20.24) による
PBX間ローミング付加サービス
PBX相互接続試験実施要領

HATS推進会議
(高度通信システム相互接続推進会議)
PBX相互接続試験実施連絡会

IPイントラネット網のVoIP (IP-QSIG) プロトコル仕様 (JJ-20.24) によるPBX
間ローミング付加サービスPBX相互接続試験実施要領

改定履歴

版	改定年月日	改定内容	担当
1.0	2003.9.4	初版制定	日立 コミュニケーション テクノロジー 鈴木

本書は、HATS 推進会議が著作権を保有しています。

内容の一部又は全部を HATS 推進会議の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目 次

1 . 背景及び目的	4
1-1 . 背景	4
1-2 . 目的	4
1-3 . 相互接続試験の範囲	5
2 . 試験の前提条件	6
2-1 . 準拠すべき標準	6
2-2 . 事前確認試験	7
3 . 相互接続試験の実施方法	8
3-1 . 試験環境	8
3-2 . 実施方法	9
3-3 . 試験手順	9
3-4 . 試験要領	10
3-5 . 合否判定	12
3-6 . 試験結果のとりまとめ	12
4 . 結果の取り扱い	13
4-1 . 試験の取り扱い	13
4-2 . その他	13

別紙

別紙 A-1 相互接続試験参加企業エントリー表 (1 / 3)	14
別紙 A-2 相互接続試験参加企業エントリー表 (2 / 3)	15
別紙 A-3 相互接続試験参加企業エントリー表 (3 / 3)	16
別紙 B-1 相互接続試験スケジュール表 (1 / 2)	17
別紙 B-2 相互接続試験スケジュール表 (2 / 2)	18
別紙 C-1 相互接続試験チェックリスト (1 / 8)	19
別紙 C-2 相互接続試験チェックリスト (2 / 8)	20
別紙 C-3 相互接続試験チェックリスト (3 / 8)	21
別紙 C-4 相互接続試験チェックリスト (4 / 8)	22
別紙 C-5 相互接続試験チェックリスト (5 / 8)	23
別紙 C-6 相互接続試験チェックリスト (6 / 8)	24
別紙 C-7 相互接続試験チェックリスト (7 / 8)	25
別紙 C-8 相互接続試験チェックリスト (8 / 8)	26

1 . 背景及び目的

1-1 . 背景

国際電気通信連合 - 電気通信標準化部門 (I T U - T) での国際的な標準化、(社) 情報通信技術委員会 (T T C) での国内標準の作成ならびに企業内でのイントラネットの普及を契機として、I P ネットワーク上に音声情報を流す V o I P (V o i c e o v e r I P) 技術への期待が着実に拡大している。

I P パケットを使用したマルチメディア通信システムの規定として、1 9 9 6 年 1 1 月に I T U - T 勧告に基づく J T - H 3 2 3 が制定されたが、この J T - H 3 2 3 の手順はマルチメディア端末を扱うプロトコルであるため、複数の呼を同時に処理する P B X 間の通信プロトコルとしては扱いづらいとの問題があった。

それに反して、P B X 間におけるデジタルインタフェースとして制定された J S - 1 1 5 7 2 情報を I P 網上に位置付けた場合、J T - H 3 2 3 を適用する際に生ずる問題が軽減され、かつ従来のサービス性を損なうことなく容易に実装できることから、J S - 1 1 5 7 2 (Q S I G) に基づく、I P イントラネット網の V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様 (J J - 2 0 . 2 4) が 2 0 0 2 年に T T C 標準として制定された。

今後、上記 T T C 標準に規定されるプロトコルを実装する製品が各製造業者から製造・販売される中で、各ユーザの P B X 導入を円滑に促進する為には、各製造業者間での相互接続性の確保が必要不可欠であるが、製品化初期においては、標準に準拠して製造される製品同士でも異なる製造業者間での相互接続性が確保されない場合があり、相互接続性の確保が重要な課題となっている。

1-2 . 目的

本「I P イントラネット網の V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様 (J J - 2 0 . 2 4) による P B X 間ローミング付加サービス P B X 相互接続試験実施要領」は、前記の目的に記載の状況を鑑み、各社が製造する P B X 間での I P イントラネット網の V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様による相互接続性を確保するため実施すべき相互接続試験の内容、手順等について規定するものである。今後、情報通信ネットワーク産業協会が事務局を務める「P B X 相互接続試験実施連絡会」等の相互接続実施機関 (自ら相互接続試験を実施するものを含む) 等において、本実施要領に従った相互接続試験が実施されることを通じて、我が国における P B X の普及に向けた環境整備が発展すると共に、標準の実効性、新たな標準への反映等に資するものである。

具体的には、各社 P B X 製品を疑似 I P 網の直接接続により、I P イントラネット網の V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様 (J J - 2 0 . 2 4) による P B X 間ローミング付加サービスの相互接続性の確認をシナリオ 1 にて認証鍵情報が異なるメーカー間の P B X で正しく理解され、認証演算が実行されることを確認する。

1-3. 相互接続試験の範囲

(1) 対象機器

接続試験の対象機器は、下記2点の条件にてシステム構築可能なものとする。

- ・ P B X (含む、ボタン電話)

条件： I P イントラネット網の V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様 (J J - 2 0 . 2 4) に準拠したものとする。

- ・ P B X に接続する端末

条件： 試験機能満たす端末 (ローミングを行う P S は、ローミング先のシステム I D を予め記憶したもの) を使用する。

(2) 接続形態

P B X 間を I P イントラネット網の V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様 (J J - 2 0 . 2 4) にて直接接続し試験を行う。

(3) 対象サービス

音声の交換サービス

(4) 実施形態

実施形態は以下の6形態に分類される。

サービスプロファイル問い合わせ

ホーム P B X に、P B X 間ローミング付加サービスに必要なサービスプロファイル情報問い合わせを行い、情報が取得できることを確認する。

位置登録

P S のローミング番号がホーム P B X 及びビジタ P B X に登録されることを確認する。

発信

ビジタ P B X に在圏する P S より発信し、その通話の正常性を確認する。

ローミング着信

ビジタ P B X に在圏する P S に着信し、その通話の正常性を確認する。

位置情報照合

ビジタ P B X とホーム P B X の位置情報が照合されることを確認する。

位置登録削除

ビジタ P B X に存在する P S の情報が消去されることを確認する。

2 . 試験の前提条件

2 - 1 . 準拠すべき標準

- ・ T T C 標準 J J - 2 0 . 2 4 I P イントラネット網の V o I P
(I P - Q S I G) プロトコル仕様
- ・ T T C 標準 J J - 2 0 . 6 0 私設総合サービス網
(P B X 間ローミング付加サービス)
P B X 間信号プロトコル仕様

(注) 相互接続試験の実施に関し、以下の標準を参考のために記載する。

- ・ T T C 標準 J S - 1 1 5 7 2 私設総合サービス網
(回線交換ベアラサービス)
- P B X 間信号プロトコル レイヤ 3 仕様 -
 - ・ T T C 標準 J T - Q 9 3 1 - a P B X 間デジタルインタフェース
(共通チャネル形信号方式) - レイヤ 3 仕様
-

2 - 2 . 事前確認試験

(1) 相互接続試験参加の前提条件

相互接続試験で使用する端末認証演算アルゴリズムは、 端末の認証鍵を全 P B X が利用可能とするため、当該アルゴリズムに対応可能な端末を使用すること。

具体的には、自営標準認証または独自認証の何れかとする。

原則として、各製造業者等の試験対象機器の総当たりにより試験を実施する。

局番号は、試験参加者間で仮の局番号を付与する。(例えば 8 X X)

システム I D は、試験参加者間で仮のシステム I D を付与する。

(試験時のシステム I D : X X X X X X X X は各社のものを使用し、ホーム P B X のシステム I D にピジタ P B X は合わせるものとする。詳細は、エントリー表作成時に調整する。)

ローミングを行う P S は、ローミング先のシステム I D を予め記憶したものを使用する。

T T C 標準 J J - 2 0 . 6 0 のシナリオ 1 による試験とする。

(2) 試験実施場所

情報通信ネットワーク産業協会内の会議室 (詳細は、エントリー後に連絡)

(3) 参加企業、連絡先、担当者、試験番号

エントリー表を別紙 A - 1、A - 2、A - 3 に示す。

(4) 事前確認項目

試験参加会社は事前に実施ガイドライン別紙 1 - 1 ~ 5 コーディング、別紙 2 - 1 ~ 2 の条件リストおよび S Y S I D について確認する。

確認方法は、参加表明された各社が提出期限までに下記方法で各社担当宛てに条件リスト、コーディングを送付する。

提出方法 : 紙面、F A X または E - m a i l

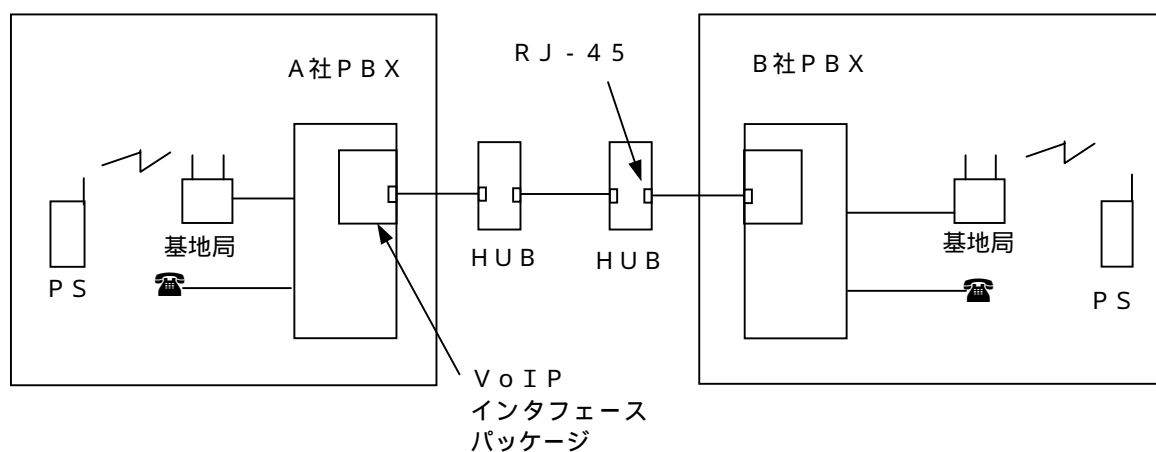
ローミングを行う P S は、予め各社の P B X における無線区間インタフェースとの適合確認を行ったものを使用する。

各社間の P S 接続試験を事前に行う際の組み合わせ表サンプルを別紙 B - 1 に示す。

3 . 相互接続試験の実施方法

3 - 1 . 試験環境

(1) 試験における接続は、図 3 - 1 の P B X 間ローミング付加サービス相互接続試験接続図に示す。



- * 1 . 各社の Vo I P インタフェースパッケージからの L A N ケーブル出しは 1 0 B a s e - T 又は 1 0 0 B a s e - T X とする。
- * 2 . 各社の P B X と接続する H U B 及び L A N ケーブルは各社準備するものとする。
- * 3 . 各社の内線には、一般電話機等を一台以上準備するものとする。
- * 4 . 各社は、必要数の A C タップを準備するものとする。

図 3 - 1 P B X 間ローミング付加サービス相互接続試験接続図

3-2 . 実施方法

- (1) 予め申し合わせた期日に、本章で規定する手順により実施する。
- (2) 共通チャンネル形信号方式 (J S - 1 1 5 7 2 または J T - Q 9 3 1 - a) および認証方式 (自営標準認証または独自認証) は、エントリー表 (別紙 A - 1 ~ A - 3) の申請内容に従い予め申し合わせた方式を使用する。
- (3) 各社の総当たりとする。
- (4) 各社の組み合わせ、及び時間割のサンプルを別紙 B - 2 に示す。
- (5) トラブルの有無にかかわらず 1 試験時間割以内の試験は、1 試験時間割単位に終了させる。

3-3 . 試験手順

- (1) 共通チャンネル形信号方式 (V o I P (I P - Q S I G) プロトコル仕様) および認証方式の確認
各社、事前申し合わせに従い、共通チャンネル形信号方式 (J S - 1 1 5 7 2 または J T - Q 9 3 1 - a) および認証方式 (自営標準認証または独自認証) の組み合わせにて発着信できることを確認する。
 - (2) 実施方法
各社、組み合わせ表に従い、順次確認を進める。
組み合わせ表のサンプルを別紙 B - 2 に示す。
 - (3) 確認手順
A 社の一般内線より共通チャンネル形信号方式の回線を捕捉し、B 社側の内線で応答する。
 - (4) 前提条件
参加各社には、仮の局番号 (例えば 8 X X 等) を付与し、発信社は着信社に対して局番号 + 内線番号 (例えば 8 X X - 2 X X X 等) を送出する。
 - (5) 事前確認事項
共通チャンネル形信号方式相互接続試験条件リスト
(実施ガイドライン別紙 2 - 1、2 - 2) 参照。
-

3-4 . 試験要領

相互接続試験実施スケジュールの詳細は、参加社数、参加機種数により、試験実施スケジュールを作成後、参加各社へ連絡する。

(スケジュール表のサンプルを別紙B - 2に示す。)

(1) 共通チャンネル形信号方式 (JS - 11572 または JT - Q931 - a) および認証方式 (自営標準認証または独自認証) の設定

- ・ 共通チャンネル形信号方式 (JS - 11572 または JT - Q931 - a) および認証方式 (自営標準認証または独自認証) による4種類の組み合わせの中から、事前申し合わせに従い、共通チャンネル形信号方式および認証方式を設定し、以下(2) ~ (7)の試験を実施する。

(2) 専用線パス設定

- ・ (1)にて設定した、共通チャンネル形信号方式および認証方式にて相互に発着信できることを確認する。

(3) サービスプロファイル問い合わせ・位置登録

(3.1) 事前確認事項

- ・ メッセージの内容を事前に確認すること。
- ・ PSにビジタPBXのシステムID及び局番が登録されていること。

(3.2) 試験項目

- ・ ビジタPBXにて位置登録させ、ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されることを確認する。

(3.3) 試験手順

ビジタPBXの基地局の電源を投入後、ホームPBXの基地局の電源を切り、ビジタPBXの基地局経由でホームPBXに位置登録できることを確認する。

ビジタPBXのビジタロケーションレジスタが登録されていることを確認する。

ホームPBXのホームロケーションレジスタが登録されていることを確認する。

(3.4) チェックリスト

別紙C - 1 ~ 4に記入する。(記入するチェックリストは、共通チャンネル形信号方式に該当するもののホームPBX用およびビジタPBX用を使用する。)

(4) 発信

(4.1) 事前確認事項

- ・ メッセージの内容を事前に確認すること。

-
- ・ ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。
- (4 . 2) 試験項目
- ・ ローミング中の P S から発信できることを確認する。
- (4 . 3) 試験手順
- ビジタ P B X の P S からビジタ P B X の一般内線に発信して、一般内線で応答する。
- 両方向の通話が正常にできることを確認する。
- (4 . 4) チェックリスト
- 別紙 C - 1 ~ 4 に記入する。(記入するチェックリストは、共通チャネル形信号方式に該当するもののホーム P B X 用およびビジタ P B X 用を使用する。)
- (5) ローミング着信
- (5 . 1) 事前確認事項
- ・ メッセージの内容を事前に確認すること。
 - ・ ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。
- (5 . 2) 試験項目
- ・ ローミング中の端末へ着信できることを確認する。
- (5 . 3) 試験手順
- ホーム P B X の一般内線から発信して、ビジタ P B X の P S へ着信させ応答する。
- 両方向の通話が正常にできることを確認する。
- ビジタ P B X から発信してビジタ P B X の P S へ着信させ応答する。
- 両方向の通話が正常にできることを確認する。
- (5 . 4) チェックリスト
- 別紙 C - 1 ~ 4 に記入する。(記入するチェックリストは、共通チャネル形信号方式に該当するもののホーム P B X 用およびビジタ P B X 用を使用する。)
- (6) 位置情報照合
- (6 . 1) 事前確認事項
- ・ メッセージの内容を事前に確認すること。
 - ・ ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。
- (6 . 2) (4 . 2) 試験項目
- ・ ビジタ P B X とホーム P B X 間でデータベース整合ができることを確認する。
- (6 . 3) (4 . 3) 試験手順
- ビジタ P B X からホーム P B X に対してデータベース整合を行う。
- 正常の場合、ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが削除されないことを確認する。
-

ホームロケーションレジスタが無い場合、ビジタロケーションレジスタが削除されることを確認する。

(6 . 4) チェックリスト

別紙 C - 1 ~ 4 に記入する。(記入するチェックリストは、共通チャネル形信号方式に該当するもののホーム P B X 用およびビジタ P B X 用を使用する。)

(7) 位置登録削除

(7 . 1) 事前確認事項

- ・ メッセージの内容を事前に確認すること。
- ・ ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが登録されていること。

(7 . 2) 試験項目

- ・ ホーム P B X にて位置登録させ、ホームロケーションレジスタ及びビジタロケーションレジスタが削除されることを確認する。

(7 . 3) 試験手順

ホーム P B X の基地局の電源を投入後、ビジタ P B X の基地局の電源を切り、ホーム P B X の基地局経由でローミング状態が解除されることを確認する。

ビジタ P B X のビジタロケーションレジスタが削除されていることを確認する。

ホーム P B X のホームロケーションレジスタが削除されていることを確認する。

(7 . 4) チェックリスト

別紙 C - 1 ~ 4 に記入する。(記入するチェックリストは、共通チャネル形信号方式に該当するもののホーム P B X 用およびビジタ P B X 用を使用する。)

3 - 5 . 合否判定

- ・ 試験に使用した共通チャネル形信号方式 (J S - 1 1 5 7 2 または J T - Q 9 3 1 - a) および認証方式 (自営標準認証または独自認証) の組み合わせに対応するチェックリストのホーム P B X 用およびビジタ P B X 用リストにおいて、チェック項目 1 から 6 の判定がすべて「 」となることにより、該方式での相互接続を合格とする。

3 - 6 . 試験結果のとりまとめ

相互接続試験終了後、トラブルの有無によらず各社は速やかに試験形態毎の結果 (別紙 C - 1 ~ 4) を報告し、P B X 相互接続試験実施連絡会はその結果を総括 (実施ガイドライン別紙 4 - 1、2) する。

4 . 結果の取り扱い

4 - 1 . 試験の取り扱い

相互接続試験参加の各社から提出された試験結果は、事務局で取りまとめられた後、適宜公開することを原則とする。

また、試験手順、方法、場所、結果などの記録を残すことにより、今後の試験の効率化を図る。

相互接続試験の実施に伴い、本相互接続試験実施要領についての要望や見直しの要求が発生した場合には、P B X相互接続試験実施連絡会に対して適宜検討を要請することができる。それを受けて、連絡会では適宜審査を実施する。

4 - 2 . その他

試験により確認された標準規定内容の問題等については、適宜標準化活動へのフィードバックを検討する。

別紙 A-3

IPインターネットのVoIP (IP-QSIG) プロトコル仕様 (JJ-20.24) によるPBX間ローミング付加サービス
相互接続試験参加企業 エントリー表 (3 / 3)

会社名	回線番号	内線番号	端末種別	IP トランク IP Address	Default Gateway	S Y S - I D	備考
			多機能 TEL				
			PS1				
			PS2				
			ビジタ番号 1				
			ビジタ番号 2				
			多機能 TEL				
			PS1				
			PS2				
			ビジタ番号 1				
			ビジタ番号 2				
			多機能 TEL				
			PS1				
			PS2				
			ビジタ番号 1				
			ビジタ番号 2				
			多機能 TEL				
			PS1				
			PS2				
			ビジタ番号 1				
			ビジタ番号 2				
			多機能 TEL				
			PS1				
			PS2				
			ビジタ番号 1				
			ビジタ番号 2				

別紙 B-1

IPイントラ網のVoIP(IP-QSIG)プロトコル仕様(JJ-20.24)によるPBX間ローミング付加サービス

相互接続試験 スケジュール表(1/2)

各社間のPS事前接続確認 試験実施 平成XX年XX月XX日(X) 9:30~17:00

【搬入・立上げおよび各社間のIPイントラネット網のVoIP(IP-QSIG)・PS事前接続確認】

試験グループ	9:30 ~ 11:00	11:00 ~ 12:00	13:00 ~ 14:00	14:00 ~ 15:00	15:00 ~ 16:00	16:00 ~ 17:00
グループ1	機器搬入 および 立上げ	A社 - B社	B社 - C社	A社 - C社	A社 - D社	A社 - E社
グループ2		C社 - D社	D社 - E社	B社 - E社	C社 - E社	B社 - D社
待機		E社	A社	D社	B社	C社

項番	PBX	PS	結果	記事	項番	PBX	PS	結果	記事
1	A社	B社			11	C社	D社		
2	A社	C社			12	C社	E社		
3	A社	D社			13	D社	A社		
4	A社	E社			14	D社	B社		
5	B社	A社			15	D社	C社		
6	B社	C社			16	D社	E社		
7	B社	D社			17	E社	A社		
8	B社	E社			18	E社	B社		
9	C社	A社			19	E社	C社		
10	C社	B社			20	E社	D社		

別紙 B-2

IPインターネットのVoIP(IP-QSIG)プロトコル仕様(JJ-20.24)によるPBX間ローミング付加サービス
相互接続試験 スケジュール表(2/2)

試験実施 平成 XX年 XX月 XX日(X)

会社名	No	試験時間と対向機種										機種名称	回線番号		備考									
		9:00	10:30	12:00	13:00	14:30	16:00	17:30	19:00	回線番号	内線番号													
A社 (A)	1	H	A > E	A > C	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">昼食</div> <div style="width: 45%; text-align: center;">予備</div> </div>										810	2000 ~								
		V	E > A	C > A																				
B社 (B)	2	H	B > C												A > B	A > D	B > D					820	3000 ~	
		V	C > B												B > A	B > E	D > B							
C社 (C)	3	H	C > B	C > A											C > D		C > E					830	4000 ~	
		V	B > C	A > C											D > C		E > C							
D社 (D)	4	H		D > E											D > C	D > A	D > B					840	5000 ~	
		V		E > D											C > D	A > D	B > D							
E社 (E)	5	H	E > A	E > D												E > B	E > C					850	6000 ~	
		V	A > E	D > E												B > E	C > E							

XX:XX	YY:YY
I > J	
J > I	

(1) 表中の

は、No. IとNo. Jは、I社がホームPBXでJ社がデジタルPBXとする。

は、No. JとNo. Iは、J社がホームPBXでI社がデジタルPBXとする。

・注：認証方式は、自営標準認証とする。

別紙 C-3

IPイントラ網のVoIP (IP-QSIG)プロトコル仕様 (JJ-20.24) によるPBX間ローミング付加サービス
相互接続試験チェックリスト (3/8) (JT-Q931-a 独自認証 ホームPBX)

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信		会社名・部課名		機種名	
				発信者名			
殿							
項番	チェック項目	判定基準					
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。 (判定、またはx)					
2	サービス・ロアム問合せ 位置登録	正常に位置登録できること。 (判定、またはx)					
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。 (判定、またはx)					
4	ローミング着信	正常に着信できること。 (判定、またはx)					
5	位置情報照合	ビジタPBXとホームPBX間でデータベース 整合ができること。(判定、またはx)					
6	位置登録削除	ビジタ/ホームPBXローケーションレジスタが 削除されること。(判定、またはx)					
総合評価 (判定、またはx)							
試験日 時			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
備考			:	:	:	:	:
			~	~	~	~	~
			:	:	:	:	:

別紙 C-4

IPイントラ網のVoIP (IP-QSIG)プロトコル仕様 (JJ-20.24) によるPBX間ローミング付加サービス
相互接続試験チェックリスト (4/8) (JT-Q931-a 独自認証 ビジタPBX)

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信殿		会社名・部課名	機種名	
		発信者名		
項番	チェック項目	判定基準		
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。 (判定、またはx)		
2	サービス・ロアム間合せ 位置登録	正常に位置登録できること。 (判定、またはx)		
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。 (判定、またはx)		
4	ローミング着信	正常に着信できること。 (判定、またはx)		
5	位置情報照合	ビジタPBXとホームPBX間でデータベース 整合ができること。(判定、またはx)		
6	位置登録削除	ビジタ/ホームPBXローミングセッションレジスタが 削除されること。(判定、またはx)		
総合評価 (判定、またはx)				
試験日 時		月 日	月 日	月 日
		: ~ :	: ~ :	: ~ :
備考				

別紙 C-5

IPインターネットのVoIP (IP-QSIG) プロトコル仕様 (JJ-20.24) によるPBX間ローミング付加サービス
 相互接続試験チェックリスト (5/8) (JS-11572 自営標準認証 ホームPBX)

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信		会社名・部課名		機種名	
		殿		発信者名			
項番	チェック項目	判定基準					
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。 (判定、またはx)					
2	サービス・ロアム問合せ 位置登録	正常に位置登録できること。 (判定、またはx)					
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。 (判定、またはx)					
4	ローミング着信	正常に着信できること。 (判定、またはx)					
5	位置情報照合	ビジタPBXとホームPBX間でデータベース 整合ができること。(判定、またはx)					
6	位置登録削除	ビジタ/ホームPBXローケーションレジスタが 削除されること。(判定、またはx)					
総合評価 (判定、またはx)							
試験日 時				月 日	月 日	月 日	月 日
備考				:	:	:	:
				~	~	~	~
				:	:	:	:

別紙 C-6

IPインターネットのVoIP(IP-QSIG)プロトコル仕様(JJ-20.24)によるPBX間ローミング付加サービス
 相互接続試験チェックリスト(6/8) (JS-11572 自営標準認証 ビジタPBX)

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信		発信		会社名・部課名		機種名	
		殿		発信者名			
項番	チェック項目	判定基準					
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。 (判定、またはx)					
2	サービス・ロアム問合せ 位置登録	正常に位置登録できること。 (判定、またはx)					
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。 (判定、またはx)					
4	ローミング着信	正常に着信できること。 (判定、またはx)					
5	位置情報照合	ビジタPBXとホームPBX間でデータベース 整合ができること。(判定、またはx)					
6	位置登録削除	ビジタ/ホームPBXローケーションレジスタが 削除されること。(判定、またはx)					
総合評価 (判定、またはx)							
試験日 時				月 日	月 日	月 日	月 日
備考				:	:	:	:
				~	~	~	~
				:	:	:	:

別紙 C-8

IPインターネットのVoIP (IP-QSIG)プロトコル仕様 (JJ-20.24) によるPBX間ローミング付加サービス
 相互接続試験チェックリスト (8/8) (JS-11572 独自認証 ビジタPBX)

(注) 試験終了後速やかに報告のこと

受信殿		会社名・部課名	機種名	
		発信者名		
項番	チェック項目	判定基準		
1	専用線パス設定	正常にデータリンクが設定されること。 (判定、またはx)		
2	サービス・ロアム問合せ 位置登録	正常に位置登録できること。 (判定、またはx)		
3	発信	正常に発信でき相手に着信できること。 (判定、またはx)		
4	ローミング着信	正常に着信できること。 (判定、またはx)		
5	位置情報照合	ビジタPBXとホームPBX間でデータベース 整合ができること。(判定、またはx)		
6	位置登録削除	ビジタ/ホームPBXローミングセッションレジスタが 削除されること。(判定、またはx)		
総合評価 (判定、またはx)				
試験日 時			月 日	月 日
備考			: ~ :	: ~ :